

2006年の東北地方の天候（速報）

- ・平成18年豪雪
- ・春の寡照
- ・7月の寡照
- ・9月・10月の発達した低気圧による大雨、暴風、高波

本資料は、現時点で得られる資料を取りまとめたものです。気候統計値については、2007年1月4日（木）に改めて12月31日までの統計値を発表します。

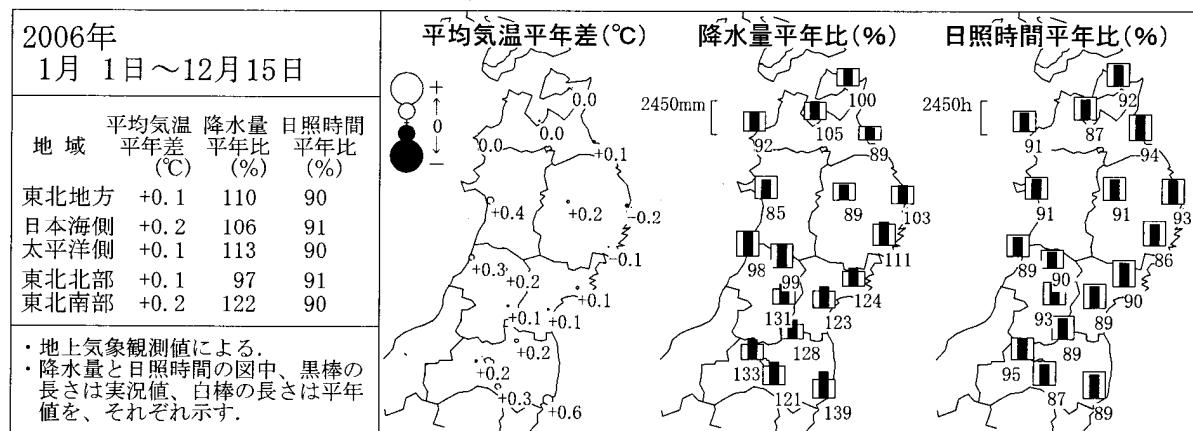
1. 2006年の東北地方の天候の特徴

2006年は、前半は気温の高い時期と低い時期が交互に現れたが、8月以降は、寒気が南下しにくい大気の流れになったことから、高温となった。また、前線や低気圧の影響を受けやすかったため、日照時間がかなり少なく、東北南部を中心に降水量がかなり多くなった。

前年（2005年）の12月から強い寒気が次々に南下し、東北地方は記録的な大雪となっていたが、1月上旬までは低温、多雪の状態が続いた。その後降雪量は平年より少なくなったが、積雪は平年を大きく上回り、雪おろしによる事故やなだれによる災害が多発した（平成18年豪雪）。春は、前線や低気圧の影響を受けやすく、日照時間がかなり少なかった。梅雨の時期の7月も、梅雨前線が本州南岸に停滞することが多く、気圧の谷やオホツク海高気圧の影響も受けたため、記録的に日照時間が少なかった。秋には、低気圧が発達しながら日本付近を通過したため、大荒れの天気となる日があった。特に10月上旬には暴風と高波により漁船が転覆して多くの犠牲者がでた。

年平均気温は、東北地方で平年差+0.1°Cと平年並。年降水量は、東北北部で平年比97%と平年並、東北南部で平年比122%とかなり多い。年間日照時間は、東北地方で平年比90%とかなり少ない。

なお、値は2006年1月1日から12月15日までの暫定値です。



年平均気温・降水量・日照時間平年差（比）の分布図

本件に関するお問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 4 ページ目脚注を参照して下さい。
 年平均値の統計期間は 1971-2000 年です。
 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の 3 階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000 年の 30 年間において出現した値を等確率 (33.3%) に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率 10% の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

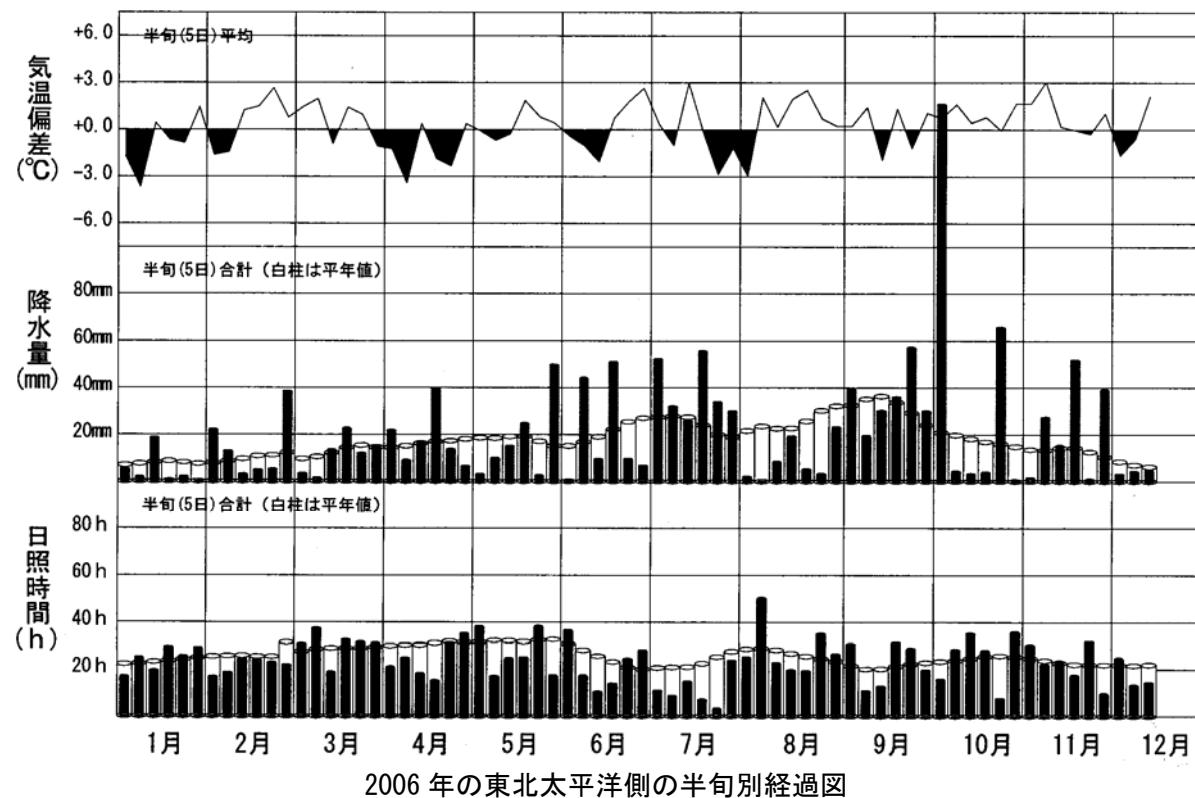
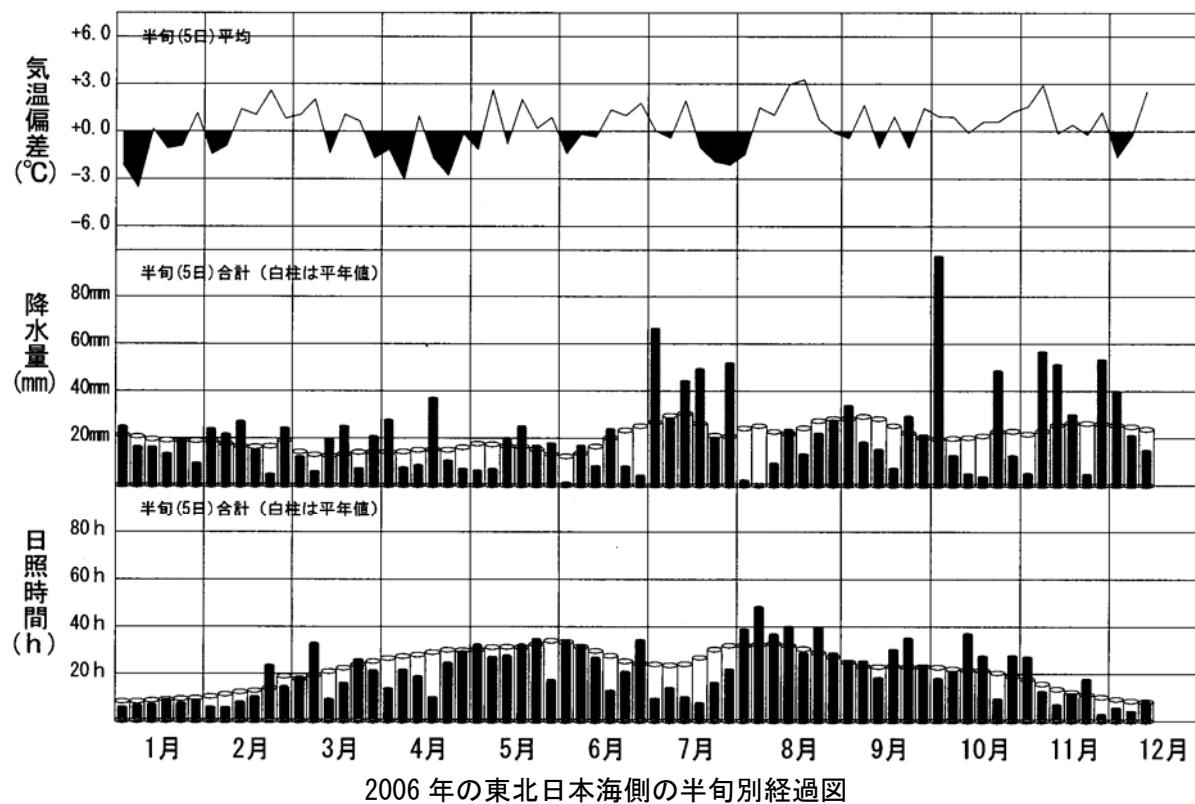
2. 気候表 (12 月 15 日までのデータを使った速報値)

地点	年平均気温(℃)		年降水量		年間日照時間	
	観測値	平年差	観測値(mm)	平年比(%)	観測値(h)	平年比(%)
青森	10.6	0.0	1283.0	105	1439.7	87
深浦	11.1	0.0	1314.0	92	1362.2)	91
むつ	9.8	0.0	1252.0	100	1505.7	92
八戸	10.6	0.1	871.0	89	1753.8	94
秋田	12.3	0.4	1388.5)	85	1439.5	91
盛岡	10.7	0.2	1096.0	89	1532.0)	91
大船渡	11.5)	-0.1	1664.5	111	1522.3)	86
宮古	10.7	-0.2	1328.5	103	1710.1)	93
仙台	12.7	0.1	1515.0	123	1578.0	89
石巻	12.0	0.1	1300.0	124	1721.3)	90
山形	12.1	0.1	1416.0	131	1497.9	93
新庄	11.2	0.2	1725.5	99	1196.1)	90
酒田	13.1	0.3	1747.0)	98	1394.4)	89
福島	13.5	0.2	1395.0	128	1531.8)	89
若松	12.2	0.2	1453.0	133	1509.6	95
白河	12.1	0.3	1634.0	121	1524.2)	87
小名浜	14.2	0.6	1896.0	139	1744.5)	89

3. 月別トピックス

- 1月：上旬の低温
- 2月：上旬の寡照、下旬の高温
- 3月：記録的な暴風、中旬の東北日本海側の多雨、寡照
- 4月：低温、寡照
- 5月：東北南部の寡照
- 6月：中旬の寡照、下旬の高温、少雨
- 7月：記録的な寡照、東北南部の多雨
- 8月：少雨、遅い梅雨明け
- 9月：東北日本海側の多照、18 日と 27 日の東北太平洋側の大雨
- 10月：上旬の大雨、東北太平洋側暴風・高波、下旬の東北南部の大雨
- 11月：上旬の高温、中旬の多雨

4. 2006 年の東北地方の半旬別経過図

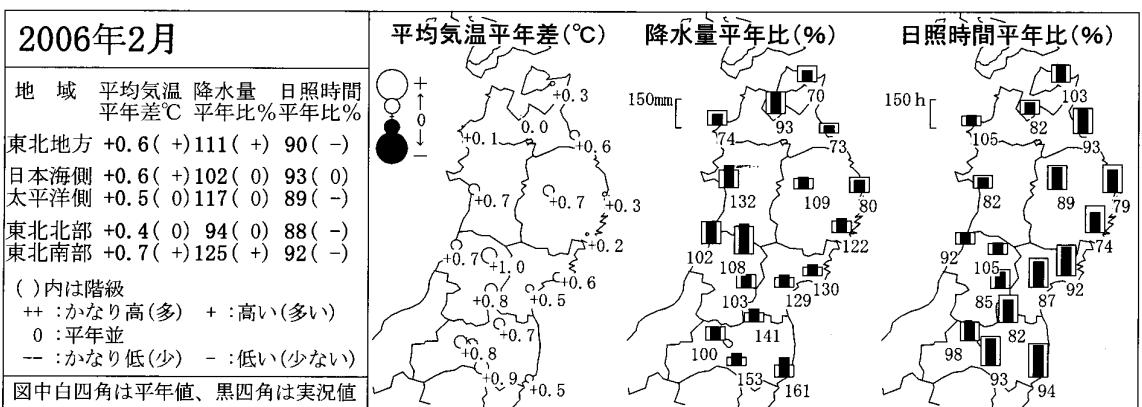
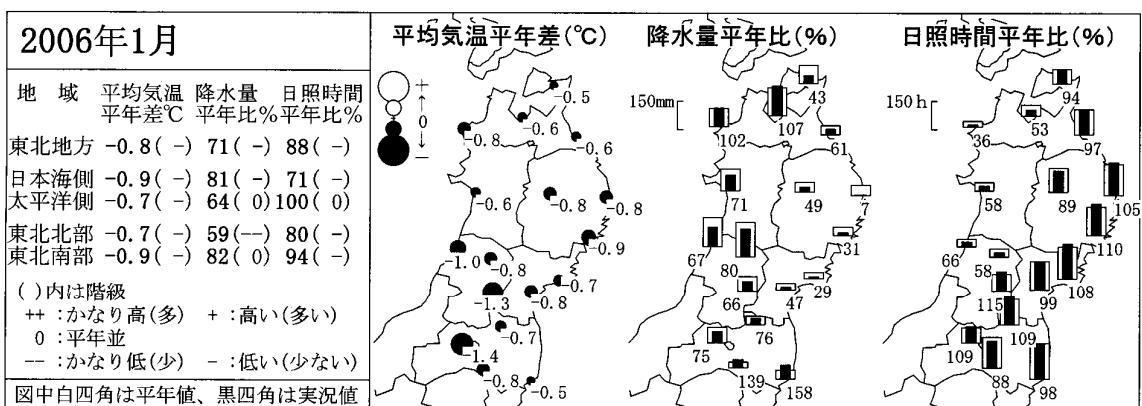
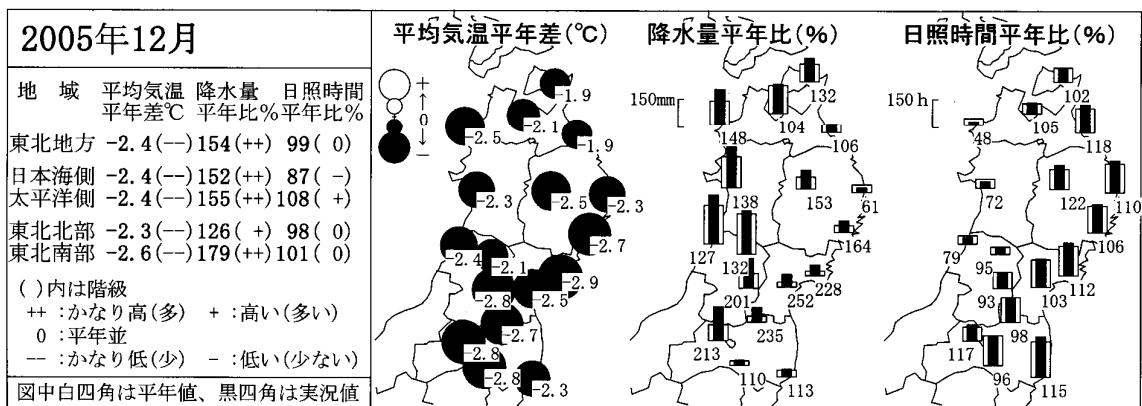
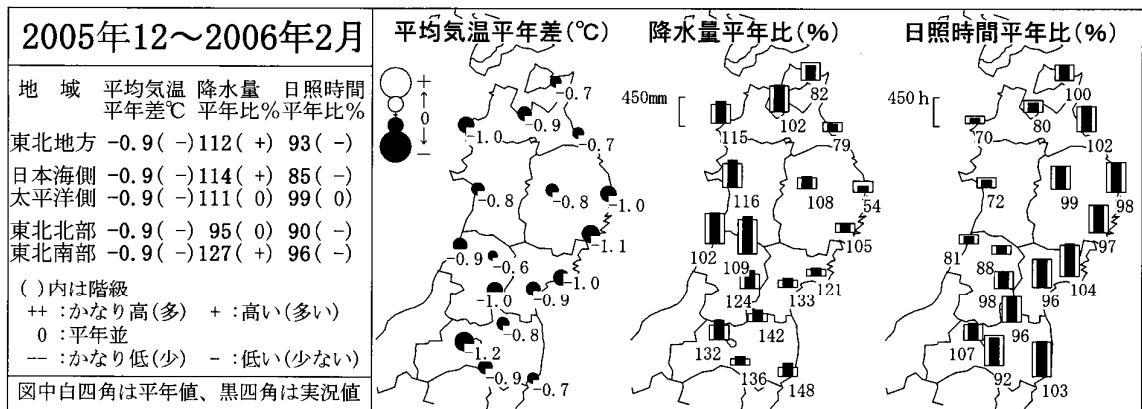


(気温：地域平均平年差、降水量・日照時間：黒い円柱は実況の地域合計、白抜き円柱は平年値の地域合計)

注) 東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

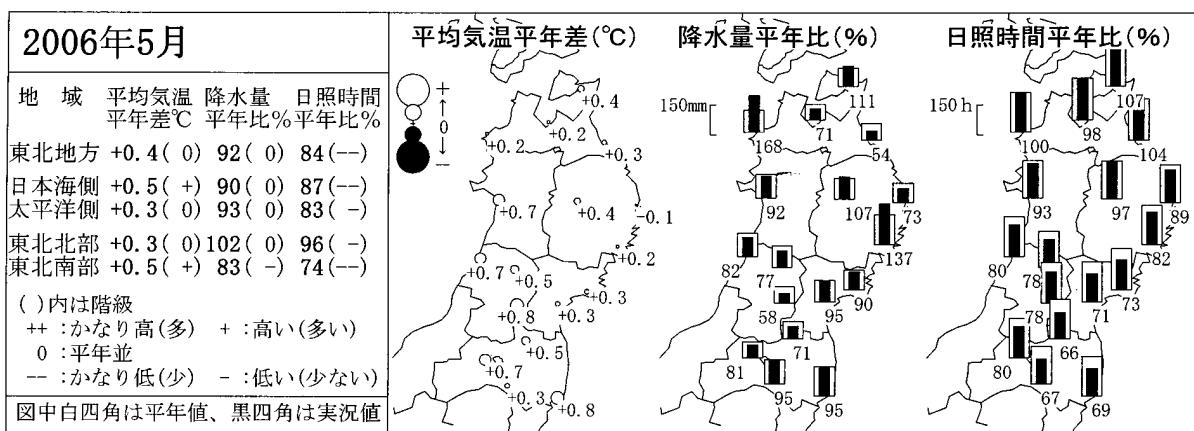
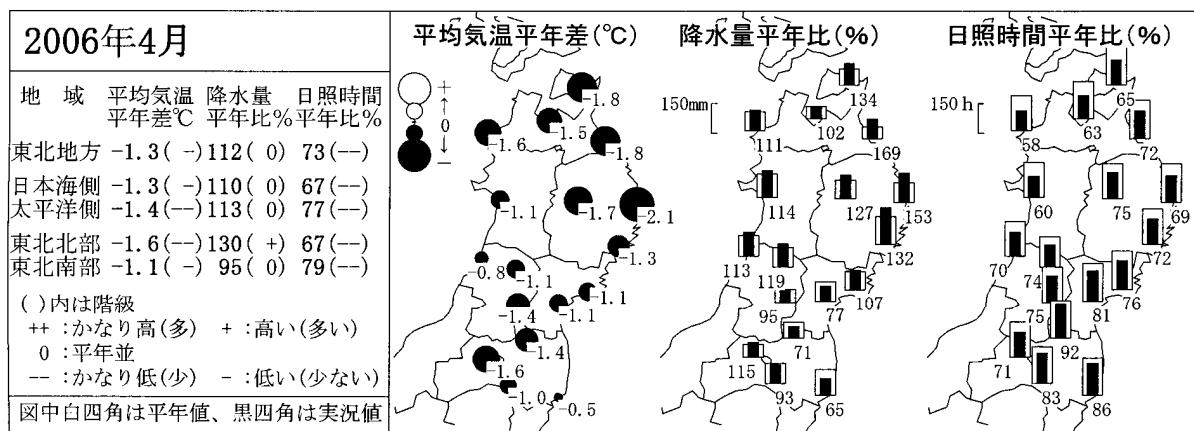
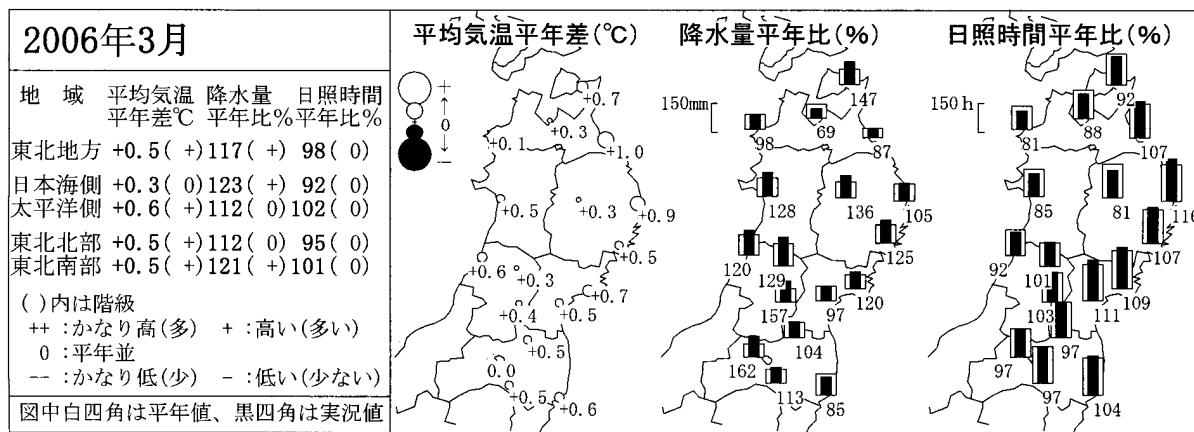
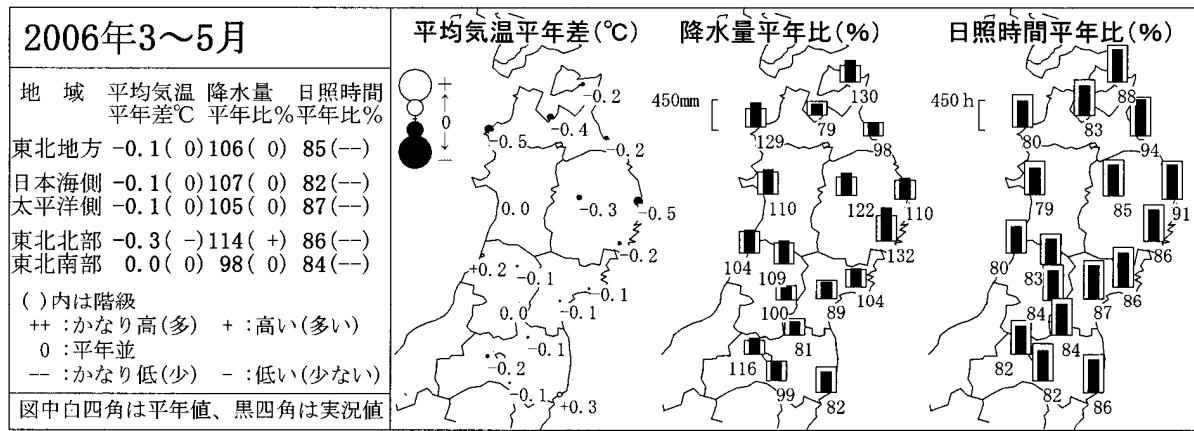
5. 2006年の季節・月平均（合計）値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

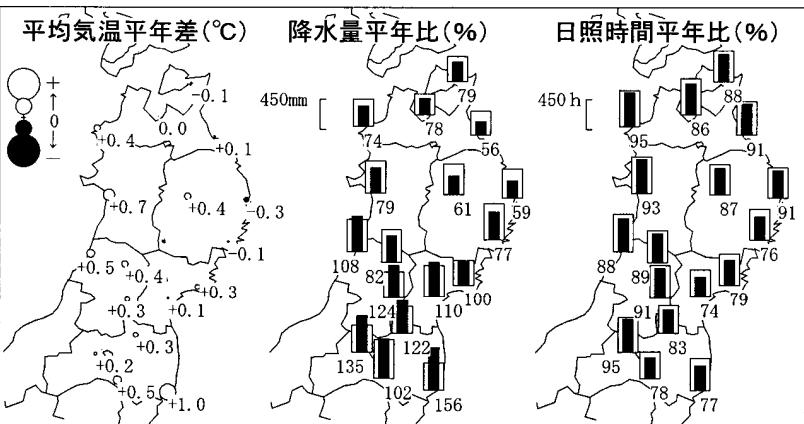
注) 東北日本海側：青森県津軽・秋田県、山形県、福島県会津
東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県
東北南部：宮城県、山形県、福島県

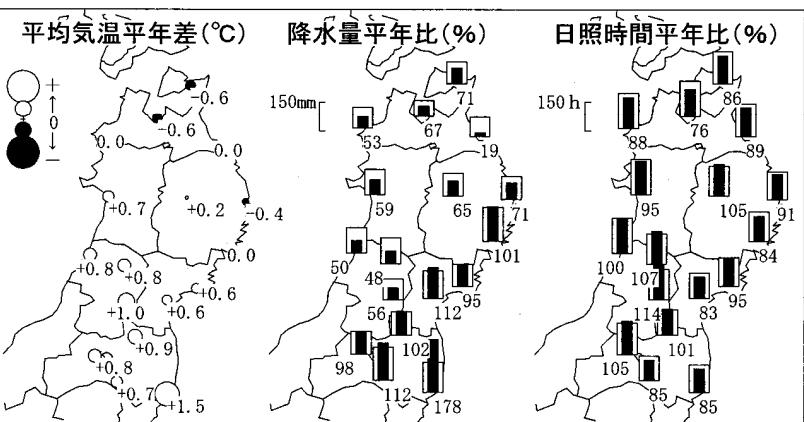


平年値の統計期間は1971～2000年。

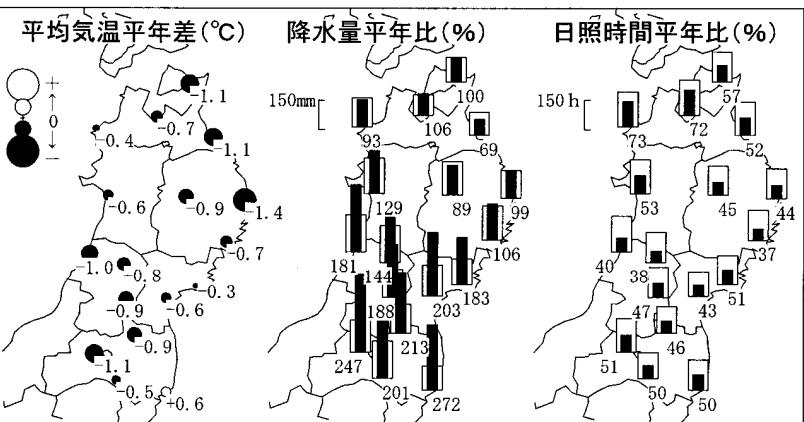
2006年6~8月				
地 域	平均気温	降水量	日照時間	
	平年差°C	平年比%	平年比%	
東北地方	+0.3(0)	94(0)	86(-)	
日本海側	+0.4(+)	97(0)	91(-)	
太平洋側	+0.2(0)	92(0)	82(-)	
東北北部	+0.1(0)	70(--)	88(-)	
東北南部	+0.4(+)	115(+)	84(-)	
()内は階級				
++ :かなり高(多)				
0 :平年並				
-- :かなり低(少)				
図中白四角は平年値、黒四角は実況値				



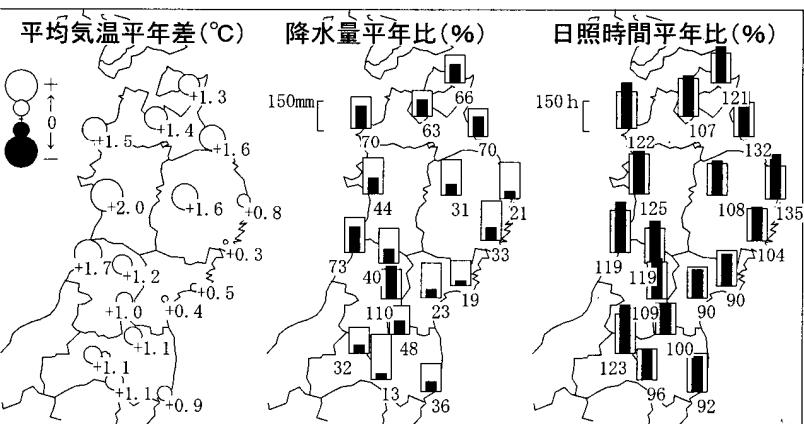
2006年6月				
地 域	平均気温	降水量	日照時間	
	平年差°C	平年比%	平年比%	
東北地方	+0.4(+)	80(-)	93(-)	
日本海側	+0.5(+)	62(-)	98(0)	
太平洋側	+0.4(+)	93(0)	90(0)	
東北北部	-0.1(0)	63(-)	89(-)	
東北南部	+0.9(+)	95(0)	97(0)	
()内は階級				
++ :かなり高(多)				
0 :平年並				
-- :かなり低(少)				
図中白四角は平年値、黒四角は実況値				

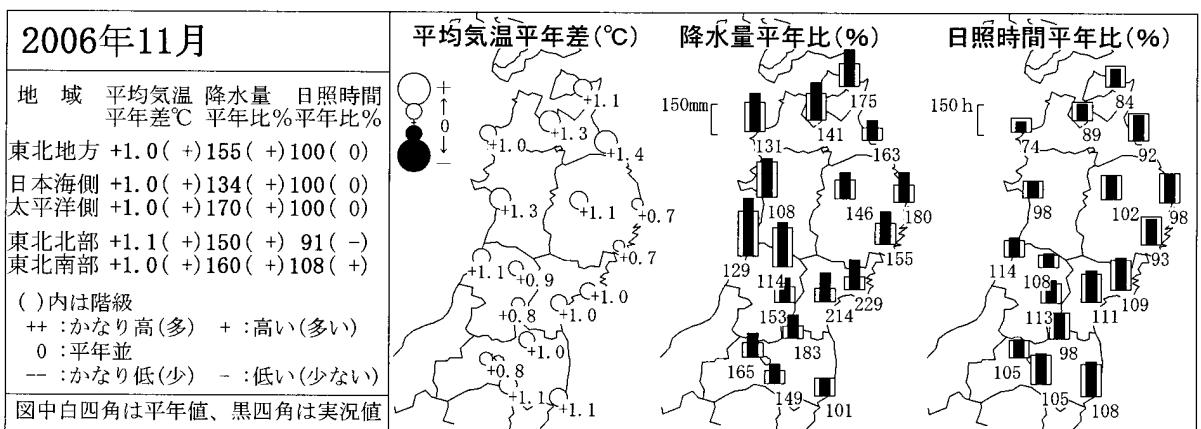
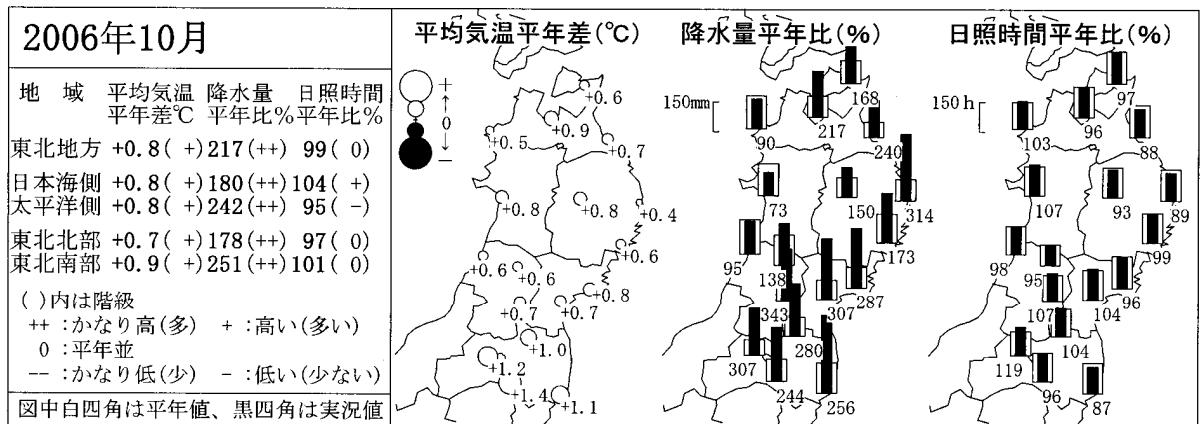
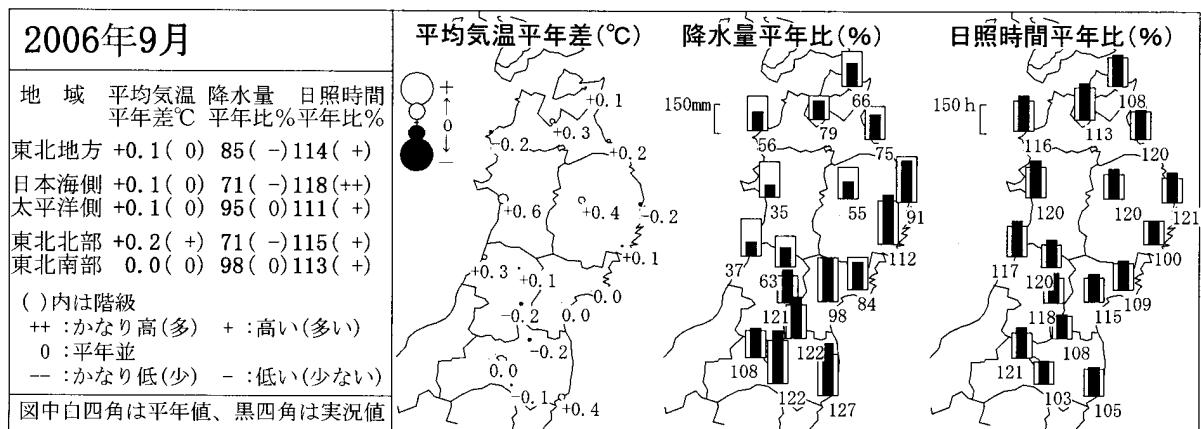
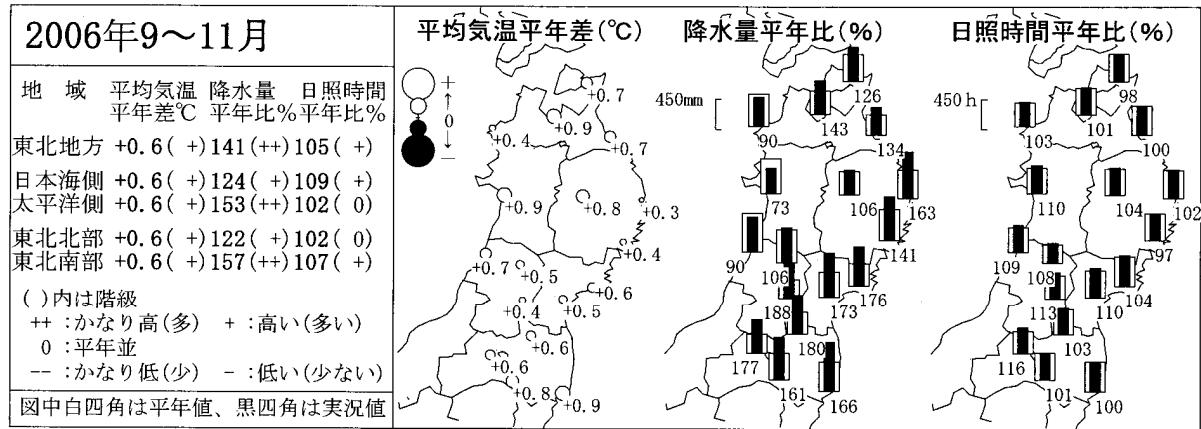


2006年7月				
地 域	平均気温	降水量	日照時間	
	平年差°C	平年比%	平年比%	
東北地方	-0.7(-)	154(++)	50(--)	
日本海側	-0.8(-)	155(++)	53(--)	
太平洋側	-0.7(-)	154(+)	48(--)	
東北北部	-0.9(-)	99(0)	54(--)	
東北南部	-0.6(-)	204(++)	46(--)	
()内は階級				
++ :かなり高(多)				
0 :平年並				
-- :かなり低(少)				
図中白四角は平年値、黒四角は実況値				

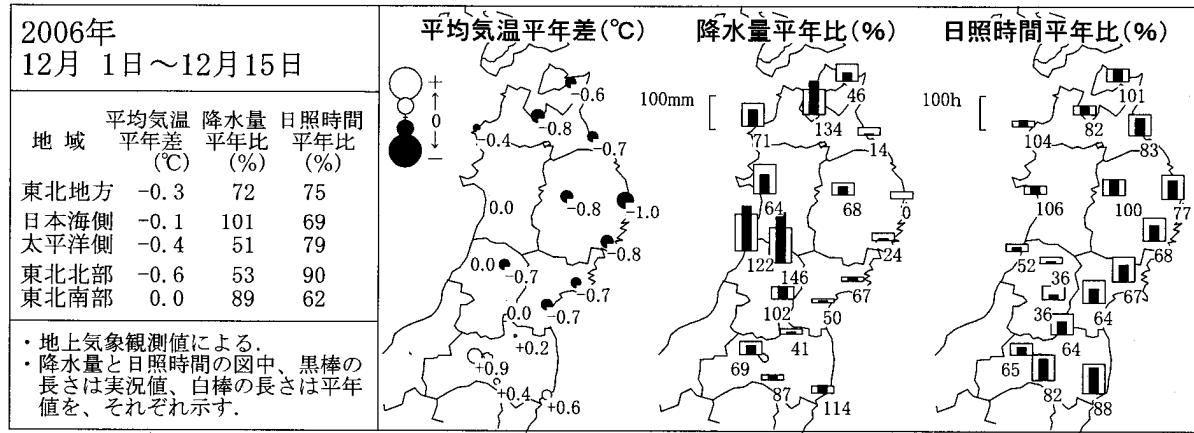


2006年8月				
地 域	平均気温	降水量	日照時間	
	平年差°C	平年比%	平年比%	
東北地方	+1.1(+)	47(-)	111(+)	
日本海側	+1.4(+)	62(-)	118(+)	
太平洋側	+1.0(+)	36(--)	107(0)	
東北北部	+1.3(+)	50(-)	119(+)	
東北南部	+1.0(+)	44(-)	104(0)	
()内は階級				
++ :かなり高(多)				
0 :平年並				
-- :かなり低(少)				
図中白四角は平年値、黒四角は実況値				





平年値の統計期間は1971～2000年。



6. 季節の極値・順位更新

(季節平均気温、季節降水量、季節日照時間、季節降雪量の3位まで)

季節降水量 多い方からの極値・順位更新

季節	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	統計開始年	平年値 mm
秋 2 位 若松 504.0 177 510.9 (1958) 1953 284.8							
山形 547.5 188 575.8 (1917) 1891 291.1							

季節日照時間 少ない方からの極値・順位更新

季節	順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	統計開始年	平年値 h
春 1 位 酒田 396.6 80 412.4 (2000) 1937 497.8							
新庄 371.1 83 365.1 (2000) 1958 448.2							
若松 419.7 82 413.0 (1992) 1954 513.7							

季節降雪量 多い方からの極値・順位更新

季節	順位	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	統計開始年	平年値 cm
冬 1 位 酒田 350 308 (1961) 1954 321						
大船渡 99 112 (1984) 1964 61						
深浦 333 335 (1984) 1954 315						
秋田 417 526 (1974) 1954 342						

7. 月の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪の1位のみ)

月降水量 少ない方からの極値更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	統計 開始年	平年値 mm
1月	むつ	41.5	43	43.0 (1974)	1935	96.0
6月	八戸	19.0	19	31.5 (1985)	1937	99.2
8月	白河	30.0	13	37.0 (1984)	1940	228.2

月間日照時間 少ない方からの極値更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	統計 開始年	平年値 h
4月	大船渡	126.5	72	136.8 (1985)	1964	176.0
	深浦	100.8	58	101.3 (1947)	1940	174.7
	青森	117.8	63	133.0 (1905)	1897	187.3
	むつ	126.5	65	147.8 (1949)	1935	193.8
	八戸	139.9	72	152.6 (1992)	1937	194.3
	秋田	104.6	60	123.2 (1989)	1899	175.0
	宮古	133.4	69	136.9 (1903)	1902	192.3
	酒田	121.5	70	123.0 (1997)	1937	173.1
5月	白河	125.4	67	126.0 (1963)	1940	188.4
7月	大船渡	55.1	37	58.5 (2003)	1964	150.0
	新庄	58.1	38	72.4 (1966)	1958	154.4
	若松	86.5	51	87.1 (1974)	1954	168.9
	盛岡	64.1	45	65.0 (1941)	1924	143.2
	酒田	72.4	40	89.5 (1966)	1937	179.8

月最深積雪 大きい方からの極値更新

地点名	最深積雪 cm	起日	これまでの最深 cm (西暦年)	統計 開始年	平年値 cm
1月 深浦	78]	24	76 (1940)	1940	31

8. 梅雨入りと梅雨明け

梅雨入りの時期は、東北南部は平年並の6月9日ごろ、東北北部は平年より遅い6月15日ごろだった。梅雨明けの時期は、東北南部は平年よりかなり遅い8月2日ごろ、東北北部は平年より遅い8月2日ごろだった。

6月は日本の南海上に梅雨前線が存在することが多く、東北北部の梅雨入りは平年よりも遅くなつた。7月に入ると梅雨前線が本州南岸付近に停滞することが多く、気圧の谷やオホーツク海高気圧の影響もたびたび受けたため、東北地方は曇りや雨の日が多くなり記録的な寡照となつた。また、東北南部では7月の降水量がかなり多くなつた。太平洋高気圧の強まる時期は平年に比べて遅く、東北地方の梅雨明けは8月に入ってからとなつた。

地 域	梅 雨 入 り		梅 雨 明 け		梅雨の時期の降水量(mm) (かつこ内は平年値(mm):注2 参照)と平年比
	今 年	平 年	今 年	平 年	
東北南部	6月9日ごろ	6月10日ごろ	8月2日ごろ	7月23日ごろ	仙台 451.0 (280.3) 161% 山形 328.0 (232.8) 141% 福島 425.5 (249.7) 170%
東北北部	6月15日ごろ	6月12日ごろ	8月2日ごろ	7月27日ごろ	青森 132.5 (153.0) 87% 盛岡 189.5 (240.6) 79% 秋田 283.0 (265.4) 107%

注1) 梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間がある。このため、時期の表現は「移り変わり」の期間の概ね中日をもって「**日ごろ」としている。

注2) かつこ内は比較のための降水量で、同時期（東北南部は6月9日～8月1日、東北北部は6月15日～8月1日）の日別平滑年値の合計値を示す。

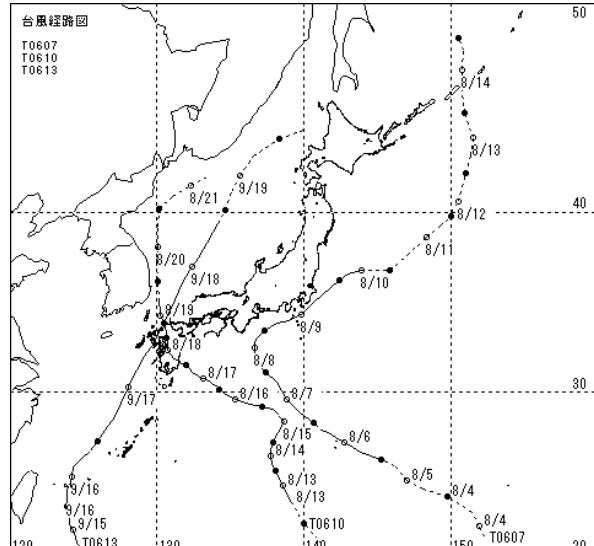
9. 東北地方に影響を及ぼした主な台風

今年の台風は、5月9日に台風第1号が発生して以来、12月18日現在23個発生している。台風発生数は平年(26.7個)より少ないが、上陸数は平年(2.6個)とほぼ同じく2個であった。本土接近数は平年(5.2個)より少ない3個であった。

台風第7号は、8月8~10日に本州に接近したが、東北地方に大きな影響はなかった。

台風第10号は、8月13日に発生し日本の南海上をゆっくりと北上、18日に宮崎県に上陸後、日本海へ進んだ。東北地方へは暖かく湿った空気が入り、東北日本海側ではフェーン現象の効果も加わり高温となった。

台風第13号は9月18日に日本海を北上し、それに伴い前線が北上したため、東北太平洋側を中心の大暴雨となった。



2006年に接近した台風の経路図

今年と平年の月別の台風発生数、上陸数、本土接近数(2006年12月18日現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	今年					1	1	3	7	3	4	2	2	23
	平年	0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
上陸数	今年								1	1				2
	平年						0.2	0.5	0.9	0.9	0.1	0.0		2.6
接近数	今年								2	1				3
	平年					0.0	0.3	1.2	1.6	1.6	0.7	0.0		5.2

10. 真冬日と真夏日の日数

真冬日（日最高気温が0°C未満の日）の日数

地点	12月 日	(平年値) 日	1月 日	(平年値) 日	2月 日	(平年値) 日	冬合計 日	(平年値) 日
青森	7	3.8	14	10.0	8	7.7	29	21.3
深浦	6	2.2	12	9.2	6	7.6	24	19.0
むつ	7	3.4	13	10.1	9	8.0	29	21.4
八戸	3	2.0	10	6.8	6	5.3	19	14.0
秋田	3	1.0	8	6.0	5	5.0	16	12.0
盛岡	10	2.2	17	8.2	7	5.3	34	15.6
大船渡	1	0.5	3	2.5	1	1.7	5	4.6
宮古	0	0.1	2	1.3	3	1.2	5	2.7
仙台	0	0.1	1	1.1	0	0.9	1	2.1
石巻	0	0.3	3	2.1	3	1.6	6	4.0
山形	4	1.1	8	5.6	5	3.9	17	10.7
新庄	9	2.3	14	9.0	6	6.9	29	18.1
酒田	0	0.2	2	2.5	1	2.0	3	4.6
福島	0	0.1	0	1.3	0	1.1	0	2.4
若松	8	0.9	11	5.6	4	3.9	23	10.4
白河	1	0.3	2	2.4	1	1.8	4	4.6
小名浜	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

真夏日（日最高気温30°C以上）の日数

	6月		7月		8月		夏		今夏の最高気温 (°C) (起日)	
	05年	06年	平年	05年	06年	平年	05年	06年	平年	
青森	2	0	0.4	1	1	3.9	7	12	7.6	33.1 7月14日
深浦	0	0	0.0	0	0	1.4	6	10	3.9	33.3 8月16日
むつ	0	0	0.1	1	1	2.1	5	8	4.0	33.1 8月17日
八戸	2	1	0.6	1	1	5.2	9	9	7.4	35.6 8月17日
秋田	2	0	0.2	0	2	4.9	16	19	9.7	36.7 8月17日
盛岡	1	0	0.8	4	0	6.5	13	19	10.1	35.2 8月8日
大船渡	2	0	0.4	2	2	3.4	8	1	5.7	32.9 7月14日
宮古	1	1	0.6	4	2	4.4	9	9	6.8	33.4 8月4日
山形	10	3	2.4	10	6	11.7	17	24	17.5	34.4 8月7日
酒田	3	0	0.5	3	1	6.5	20	19	12.6	37.0 8月17日
新庄	6	0	1.1	6	0	7.9	16	24	13.0	34.9 8月8日
仙台	2	2	0.4	4	2	5.1	11	8	9.9	33.9 8月4日
石巻	1	0	0.1	0	1	2.3	5	4	4.8	32.7 8月4日
福島	8	4	3.4	10	5	13.3	20	23	18.1	35.6 8月3日
若松	6	1	2.2	8	3	12.1	18	24	18.4	35.4 8月7日
白河	4	0	0.6	7	2	6.8	14	18	10.7	33.7 8月4日
小名浜	0	0	0.3	4	1	1.9	3	3	3.8	31.9 8月5日

11. 2006年の季節現象

桜の開花・満開

観測地點	開花日					満開日				
	今年 (2006)	平年値	昨年 (2005)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2006)	平年値	昨年 (2005)	最早/起年	最晩/起年
青森	5.01	4.26	4.29	4.14/2002	5.11/1984	5.06	5.01	5.02	4.16/2002	5.18/1984
八戸	4.29	4.24	4.27	4.12/1990	5.18/1984	5.02	4.28	4.29	4.16/2002	5.23/1984
盛岡	4.24	4.23	4.23	4.11/2002	5.06/1984	4.30	4.27	4.27	4.16/2002	5.09/1984
宮古	4.23	4.20	4.18	4.08/2002	5.07/1984	4.28	4.25	4.24	4.13/2002	5.19/1984
仙台	4.13	4.12	4.14	3.29/2002	4.28/1984	4.18	4.18	4.17	4.03/2002	5.03/1984
秋田	4.21	4.19	4.24	4.07/2002	4.30/1984	4.26	4.24	4.28	4.12/2002	5.08/1965
山形	4.18	4.17	4.19	4.03/2002	4.29/1984	4.23	4.21	4.23	4.06/2002	5.04/1984
酒田	4.16	4.16	4.19	4.04/2002	4.27/1984	4.21	4.20	4.25	4.08/2002	5.02/1965
福島	4.12	4.11	4.11	3.29/2002	4.25/1984	4.15	4.15	4.16	4.02/2002	4.28/1984
小名浜	4.03	4.08	4.10	3.25/2002	4.25/1984	4.11	4.14	4.16	4.01/2002	4.29/1984

寒候期現象の初日

2006/2007年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初霜			初氷			初雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.19	10.23	10.27	11.20	10.29	11.16	11.12	11.7	11.8
八戸	11.2	10.27	11.16	11.19	11.2	11.16	11.12	11.11	11.15
秋田	11.19	11.6	11.21	11.19	11.13	11.21	11.16	11.12	11.15
盛岡	10.22	10.18	10.26	11.2	10.24	11.1	11.12	11.8	11.15
宮古	11.18	10.31	11.10	11.18	11.5	11.10	11.30	11.16	11.30
仙台	11.18	11.06	11.20	11.19	11.16	12.3	12.2	11.22	12.3
山形	11.9	10.24	11.1	11.19	10.29	11.1	12.1	11.16	11.19
酒田	11.19	11.12	12.6	11.19	11.20	12.6	12.1	11.17	11.30
福島	11.19	11.6	11.17	11.19	11.11	11.17	12.3	11.24	12.3
若松	11.19	10.28	11.1	11.19	11.6	11.1	11.12	11.17	11.16
小名浜	11.25	11.11	11.18	11.25	11.19	11.21		12.13	12.15

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1584	11.8	10.16	11.8	ガンドサン 雁戸山	1485	11.8	10.28	11.10
イワキサン 岩木山	1625	11.8	10.15	11.9	リュウサン 滝山	1362	11.8	10.30	11.10
ハシカミダケ 階上岳	740	11.30	11.12	11.19	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175	11.8	11.6	11.9
タイハイイサン 太平山	1170	11.12	10.31	11.9	ザオウサン 蔵王山	1841	11.8	10.23	10.24
イワテサン 岩手山	2038	10.9	10.13	10.24	アツマヤマ 吾妻山	1949	11.8	10.21	10.23
チヨカイサン 鳥海山	2236	10.9	10.9	10.25	イイデサン 飯豊山	2105	11.8	10.17	10.24
ガッサン 月山	1984	11.8	10.15	10.26	パンダイサン 磐梯山	1819	11.8	10.24	11.9
アサヒダケ 朝日岳	1870	11.8	10.19	11.10					

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

* 大船渡測候所が平成18年10月1日に特別地域気象観測所へ移行をしたことに伴い、大船渡における寒候期季節現象および五葉山の初冠雪の観測は終了しました。

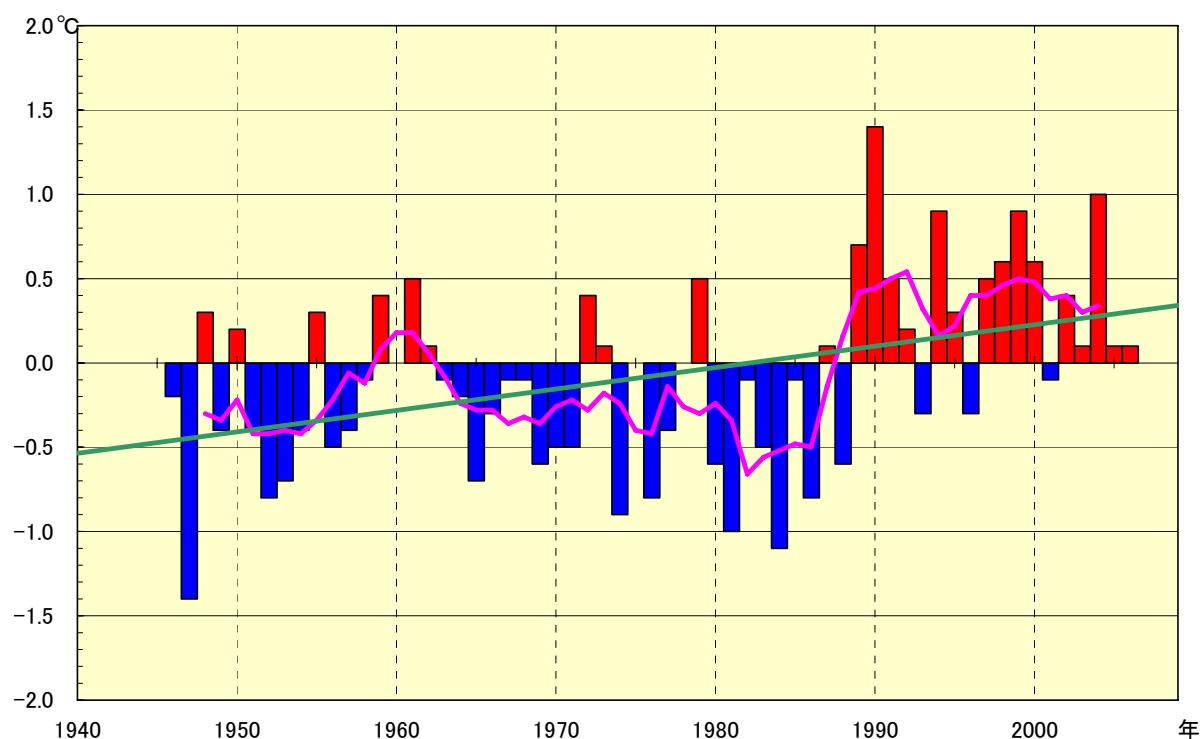
12. 東北地方の年平均気温の平年差の推移

2006年の東北地方の年平均気温の平年差は $+0.1^{\circ}\text{C}$ （2006年1月1日から12月15日までの暫定値）と平年並となる見込みです。

地球温暖化や都市化による経年的な気温上昇と、1998年以降北半球対流圏の平均的な気温が高いことにより、近年の気温ベースが高温側に偏っている傾向にあります。今年は、1月、4月、7月と寒気が南下し低温の時期があり、年平均気温はプラス偏差ながら平年並となる見込みです。

東北地方の1946年からの年平均気温の平年差の経年変化をみると、年々の変動はあるものの、長期的にみて気温は上昇している。また、この傾向の中にも相対的に気温の低い時期と高い時期が繰り返されており、1980年代終わりから高温が現れやすい状態が続いている。

図中の直線で表される年平均気温の数十年～百年規模での上昇の要因としては、二酸化炭素等温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化が考えられる。また、図中の折れ線で表される5年移動平均の変動には、長期的な変化に加えて、海面水温の変動等にみられる年～数十年程度の時間規模の自然変動が関わっていることが考えられる。



東北地方の年平均気温の平年差の経年変化 (1946~2006年、2006年は暫定値)
棒グラフは各年の値。折れ線は各年の値の5年移動平均。直線は各年の値の近似直線。